

KANSAI

U n i v

N E W S

特集

グローバル化の波に乗れ!!
関大流
海外留学のすすめ

【VIVA!学び場】

商学部 ビジネスリーダー特別プログラム (BLSP)
「プロジェクト研究1」 西岡健一准教授

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

「自立する」ってどういうこと?



関大流

グローバル化の波に乗れ!!

海外留学のすすめ

国際化が進む現在。さまざまな分野でグローバルな人材が求められています。そこで今回の特集では「留学」にクローズアップ。異文化で学ぶことで得られるものとは。経験者のコメントとともに、関大の留学システムについてもご紹介していきます。

村井景子さん 文学部4年次生
留学先▶台湾/国立台湾大学
留学方法▶交換派遣留学
期間▶2011年2月~2012年2月



多様な文化に触れ、将来を考えるきっかけになりました。

語学力を磨きたかったこともありましたが、何より、「台湾人の親切さは特別!」という台湾からの留学生の言葉が気になり、台湾で生活してみたいことがきっかけです。留学先では現地の方ももちろん、33カ国もの留学生と交流する機会に恵まれ、1年を通してより国際的な人脈がつくれたと思います。多様な価値観や考えに触れ、将来について考えられたことは大きな収穫です。長期留学の良さは、その国の行事・習慣などに触れる機会が十分にあることです。ぜひ積極的に留学を考えてみてください。

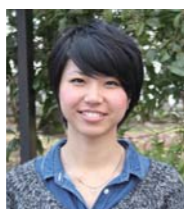
小阪早希子さん 法学部4年次生
留学先▶オーストラリア/マッコリー大学
留学方法▶認定留学
期間▶2011年2月~8月



どんなときも自分で考えて行動する力が身に付きました。

マッコリー大学付属の語学学校で英語を勉強していました。授業では常に意見を求められるので、発言力や表現力を伸ばせたのが良かったです。ただ、授業だけでは現地の人と直接触れ合える機会が少なかったため、もっとコミュニケーション力を高めるために日本語を勉強している現地の学生に積極的に話しかけたり、テコンドー教室に通って現地の人と交流したりしていました。おかげで自分で考えて行動する力が身に付いたと思います。留学は社会を知る良いきっかけ。新しい世界が開けるといいますし、大学で何をしようか迷っている人にはお勧めですよ。

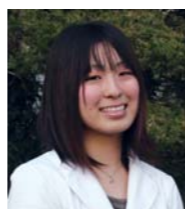
佐藤暁恵さん 文学部4年次生
留学先▶台湾/静宜大学
留学方法▶静宜大学特別留学プログラム
期間▶2011年2月~7月



知識や経験、人との出会いなど、得られるものが多いですね。

台湾の静宜大学に特別留学プログラムで留学しました。中・長期の留学は学生だからこそできること。異文化の中で暮らしてみることで、人とのつながりの大切さを実感したり、地元・大阪の魅力を再発見したりと、約5カ月間ですが海外で生活できたことはとても貴重な経験になりました。留学中に仲良くなった台湾の学生とは今でも連絡を取り合っていますし、海外に友達ができるのも留学の魅力の1つですね。留学は後悔することよりも得られるものの方がはるかに大きいので、チャンスがあればぜひ挑戦するべきだと思います。

岩井史佳さん 社会学部3年次生
留学先▶アメリカ/ポートランド州立大学
留学方法▶海外語学セミナー
期間▶2011年8月~9月



異文化で過ごす濃密な時間が自分を成長させてくれました。

英語を学ぶことはもちろん、語学以外の面でも自分を成長させたいと思い、まずは短期の海外語学セミナーに参加しました。実際に留学を経験して感じたのは、1カ月という短い期間でも異文化の中で濃密な時間を過ごし、人間的に大きく成長できるということ。もちろん、文化の違いからくるすれ違いもありますが、そういったことを通じて自分が日本人であると強く感じることができそうですし、自分を客観視する良いきっかけになると思います。今後は1年間の長期留学にチャレンジしたいですね。

「外国語会話交流会」って?

留学生との交流や日本人学生の外国語会話力の向上を目指した、外国語コミュニケーションのためのクラスです。教室は国際部の交流室、先生役は関西大学の留学生が務めます。先生役の留学生たちが手掛けたオリジナルのテキストや、会話のためのゲーム素材を用いて行われます。

参加方法は、クラスの始まる時間に国際部にある交流室へ直接行けば参加できます。語学レベルに関係なく、特別な予約や手続きも不要。1回のみ参加もOKです。(参加者が集中した場合、参加調整をお願いすることがあります)

■ 時間割表(平成24年度 春学期)

	月	火	水	木	金
1	ベトナム語	朝鮮語			英語
2	中国語		朝鮮語	中国語	ベトナム語
3	アラビア語	スウェーデン語	中国語	英語	英語
4	朝鮮語	中国語	英語	英語	アラビア語

留学プログラム一覧(概要)

国際部が主に実施している留学プログラムは以下の4つ。条件面を比較して自分に適した留学方法を選択してください。

交換派遣留学

関西大学と学生交換協定を結んでいる外国の大学(協定大学)に留学し、専門分野を学ぶ制度です。

期間	1学期間または2学期間	単位認定	認定あり
必要経費	関西大学の学費、渡航費、生活費(食費・滞在費等)、海外旅行傷害保険料など		
奨学金等	留学先大学の授業料免除、国際交流助成基金から奨学金を支給		
選考試験	筆記試験・口頭試問・日本語による面接		
応募資格	留学受け入れ先の受け入れ条件を満たす必要あり		
出願時期	春学期 2012年6月13日(水)~22日(金) 秋学期 2012年10月ごろ		



認定留学

協定大学を含む外国の大学や大学付属の語学学校に留学する制度。世界中から行きたい大学を選択できます。

期間	1学期間または2学期間	単位認定	認定あり
必要経費	認定留学在籍料(1学期10万円)、渡航費、留学先の学費等、生活費(食費・滞在費)、海外旅行傷害保険料など ※関西大学の授業料、教育充実費、実験実習料免除(認定留学在籍料は必要)		
選考試験	特になし ※ただし留学先の選定、受入許可まで自分で手続きする必要あり		
応募資格	留学受け入れ先の受け入れ条件を満たす必要あり。中期外国語研修については授業時間、授業期間、対象の留学先国の条件あり		
出願時期	春学期 2012年10月下旬(2013年度留学分) 秋学期 2012年5月14日(月)~18日(金)(2012年度留学分)		



静宜大学特別留学プログラム

台湾の静宜大学に留学するプログラム。中国語を学びながら日本語での台湾文化事情関係科目を受講。中国語のレベルに関係なく出願できます。

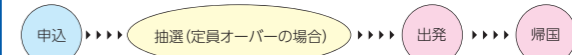
期間	1学期間	単位認定	認定あり
必要経費	関西大学の学費、渡航費、生活費(食費・滞在費・寮費等)、海外旅行傷害保険料など ※静宜大学の授業料は免除		
選考試験	日本語による面接試験		
応募資格	学部生のみ。留学時に2年次生または3年次生であること		
出願時期	春学期 2012年10月ごろ 秋学期 2013年4月下旬(2012年度は募集終了)		



海外語学セミナー

夏休みおよび春休み期間中に海外のさまざまな国で英語をはじめとする諸外国語を学ぶことができる短期留学プログラムです。

期間	約3~4週間	単位認定	認定あり
必要経費	参加費(約34万~60万円)		
選考試験	特になし		
応募資格	在学生および大学院生(ただし春学期には当該年度に卒業予定の学生は参加できません)、希望するセミナーの言語を少しでも学習したことがある方		
出願時期	夏期 2012年5月18日(金)まで出願受付中 春期 2012年10月ごろ		



※上記プログラムの詳細は、国際部発行の「留学ハンドブック」および各プログラムの募集要項を確認してください。

TOEFLとIELTSって何が違うの?

TOEFLは、英語を母国語としない人々のコミュニケーション能力を測るテストとして米国で開発されたテストです。また、IELTSは英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドでのほとんどの高等教育機関で利用されているテストです。米国でもTOEFLに代わって入学審査の際に採用する教育機関が増えています。TOEFLやIELTSは、留学に必要な英語力を測る検定試験で、本学では交換派遣留学の出願要件にも採用しています。

■ 各学部の留学プログラム

実施学部	プログラム名	行き先	問い合わせ先
経済学部	経済学部国際化プログラム	中国、シンガポール、台湾、オーストラリア	教務センター
商学部	海外ビジネス英語プログラム(BestA)	イギリス	
	1学期留学プログラム	イギリス	
政策創造学部	海外英語研修	オーストラリア	
	海外短期留学プログラム	ニュージーランド	
外国語学部	スタディー・アブロード・プログラム	中国、フィリピン、イギリス、アメリカ、ニュージーランド	SA支援センター
	Emory Teaching Fellow in Language and Linguistics	アメリカ	外国語学部オフィス



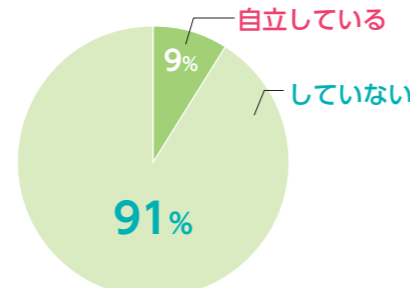
みんなで一緒に考えよう。関大誌上 教室「自立する」ってどういうこと？

OPINION OF PROFESSOR
社会学部 岩見和彦教授

大学生の皆さんにとって「自立する」とはどのようなことでしょうか？
結婚したら自立？ たくさんお金が稼げれば自立？ 家族を支えられるようになったら自立？
人によって「自立する」ことの定義はさまざまです。
そこで5月13日(日)の母の日になんて、自立し大人になるとはどういうことなのか、
関大生の考える「あなたは、いま、『自立』していますか？」と題したアンケートを行いました。

あなたは今、「自立」している? :「はい」は9%!

今回の調査では、「自分は自立している」と考えている人が9%いました。
男女、年次とはあまり関係しておらず、「下宿生」の比率が相対的に高く、④「大学生になったら、もう大人や!」、⑤「自立の決め手は、『経済的な基盤』よりも『精神的な成熟』がポイントやと思う」との考え方をもち人に多いのです(住居・④・⑤ともにP<0.01※: できれば基礎集計表を参照してくださいね)。
でも、どういう状態を「自立している」とみるかは、各人各様のはず。今回の調査では何と4人に3人の人が、自立に対する自分なりの考え方を、自由記述欄に書いてくれています。



※例えば、「P<0.01」は1%水準で有意差ありのこと。この集計結果からは統計的にみて2つの項目間に関わりがあるとみてよい、とお墨付きが得られたことになる。

「義務教育が終わって16歳になった時、両親が『今日からおまえの責任は取らない』と言われた時点で、私は自立した」(2年次生・女子)と書いてくれた人がいます。そうかと思うと「精神的な自立、親からの本当の自立というのはやっぱり親と死別したときのかな」(4年次生・男子)という、深い「いいえ」もあります。また、「自立とは『自』とつく通り、自らが定義するものである。よってこのようなアンケートから、自立の定義や普遍性が導き出せるか」という、疑問がある「M2生・女子」とのそもそも論もあって…。さあ、この難問に対して、いったいどんなことが分かるのでしょうか？

関大生の〈自立〉観: 10の質問から探る

あなたの友人たちが、あれこれ言っています。それぞれについて、あなたはどう思いますか。【その通り/いや違う】のどちらかで教えてください。

○カッコイイ大人が少ない!

興味深いのは、①「周りを見渡してもカッコイイ大人は少ないよね」に「その通り」と答える人が46%、③「早く大人になっても、得なことなんてほとんどないよ」にも41%が同意しています。ともに過半数まではいないのですが、カッコイイ大人が少ない⇒大人になるメリットはない、といったふうに両者は「大人価値」の低落という形で関連し合っているみたいです(図A:P<0.03)。

さらに③のように、大人になるメリットがないと思うのなら、⑧「本当は、フリーターみたいな生活が理想なんやけどなぁ」と考えるのも、理解できる気がしますよね(図B:P<0.01)。でも、このフリーター、以前にはその「自由」イメージが広く若者に受け入れられたりもしたのですが、このデータでは12%の支持しかありません。

○大事なものは「精神的自立」

「自立」は、精神的に成熟しており、自分のことは自分で責任が持て、甘えや依存心が強くない状態だと考えています。だから、「定職に就いた」とか、「結婚して家庭を持った」などは、自立したかどうかをはかる目安にはなりません(4年次生・女子)。「自立とは、自らの人生のメインに自分になることだ」と思う。つまり自分を好きになる、自分が自分であることを認めることが「自立」ということだと考える(4

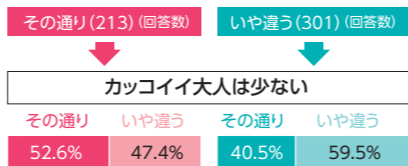
年次生・男子)。こうした意見にあるように、⑤「自立の決め手は、経済的な基盤よりも精神的な成熟」には、60%近くの人が賛成しています。不況の時代にあっても、いやだからこそかもしれないが、心の方を重視する流れがここにも見取れます。とくに、自分を「自立している」とみなす人では、85%がそう考えているのです。

○でも、やっぱり家族が大事!?

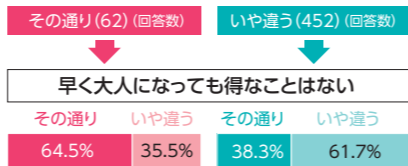
⑥「許されるなら、家族の支援があればあるほどいいに決まっている」、⑩「できればずっと家族と暮らしたい」のそれぞれ36%、32%という数字も、気になるところです。従来型の「脱家族=自立」のイメージを強く持っている人からすれば、昨今の経済(就職)状況を考えたとしても、えっ、3分の1も、と眉をひそめるかもしれませんが。ただ、⑩は「家族の絆」志向を意味してもあり、女子に強くみられる点は確認

しておくべきでしょうね(基礎集計表:P<0.01)。また、⑥は、家族への依存傾向が強い人に、上でみた「カッコイイ大人は少ない」と思う人の比率が高いというの、見逃せない結果だと思えます(図C:P<0.05)。目指すべき大人のモデルがあまり見当たらないということは、いろんなことと関わり合っているようです。

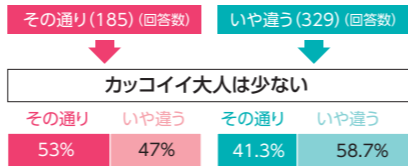
図A【早く大人になっても得なことはない】



図B【フリーターが理想】



図C【家族の支援があればあるほどいい】



「自立」ってどういうこと?:みんな、すごく真面目に考えている!

授業料や生活費を親などに依存している大学生には、「自立している」と言える条件はまだない、だから「大学は自立への準備期間」(3年次生・女子)なのだ、といった、まさに「これからの課題」だとする意見が多いのは、当然でしょう。もう少し違った視点からの意見もあります。「ある意味、人は自立などできないのかも知れない。人は、お互いに助け合って生きているから」(2年次生・男子)。「自分にとって自立とは他者を助けることができるほどの精神的余裕があることを指している」(2年次生・女子)。

「なんでもかんでも独りよがりでも物事を進められることじゃなく、他人に頼ることができるようになって初めて一人でも生きていけるということになると思う」(3年次生・女子)。
このように、学生諸君は「自立」について、自分と、家族(親)と、そして社会と向き合うことを通して、時代に変われば自立の意味合いやプロセスにも変化が生じます。先行世代とは異なった、自分たちの自立の物語を編み上げていってくれるものと信じています。

※最後に、来るべき母の日にちなんで、親御さんに読んでいただきたい一文を。
「経済的な基盤を築くのは当然として、親に迷惑をかけない、心配させないようにするまでは自立したとは言えないと思います。私は「自立=親離れ」と考えているので、自分が自立したいと考えても親子離れできず積極的に関与してくるようでは難しくなります。親に「益と正月には帰ってくるし大丈夫だろう」と思わせて初めて自立したと言えるのではないのでしょうか」(4年次生・男子)。

【基礎集計表】 【調査方法】インフォメーションシステムによるwebアンケート 【アンケート実施期間】2012年3月24日~4月4日 【対象】全学年 【回答数】514件

質問	選択肢	全体(タテ%)		性別		年次					あなたは自立している?					
		男(タテ%)	女(タテ%)	1年	2年	3年	4年	大学院	はい(タテ%)	いいえ(タテ%)						
計		514	100	231	45	283	55	56	180	128	106	44	46	9	468	91
性別	計	231	45	283	55	33	76	55	44	23	23	104	73	62	21	
	男	18	8	28	10	4	16	9	9	8	52	164	119	97	36	
	女	213	92	255	90	29	60	46	31	16	88	107	64	57	15	
あなたは自立している?	はい	46	9	18	8	28	10	4	16	9	9	8	22	48	212	45
	いいえ	468	91	213	92	255	90	52	164	119	97	36	24	52	256	55
①周りを見渡してもカッコイイ大人は少ないよね	その通り	234	46	103	45	131	46	31	80	63	44	16	22	48	212	45
	いや違う	280	54	128	55	152	54	25	100	65	62	28	24	52	256	55
②定職に就かないと、1人前とは言われへんで	その通り	308	60	140	61	168	59	36	110	72	65	25	30	65	278	59
	いや違う	206	40	91	39	115	41	20	70	56	41	19	16	35	190	41
③早く大人になっても、得なことなんてほとんどないよ	その通り	213	41	91	39	122	43	25	82	57	40	9	18	39	195	42
	いや違う	301	59	140	61	161	57	31	98	71	66	35	28	61	273	58
④大学生になったら、もう大人や!	その通り	156	30	75	32	81	29	22	54	36	31	13	27	59	129	28
	いや違う	358	70	156	68	202	71	34	126	92	75	31	19	41	339	72
⑤「自立」の決め手は、「経済的な基盤」よりも「精神的な成熟」がポイントやと思う	その通り	299	58	128	55	171	60	35	96	78	66	24	39	85	260	56
	いや違う	215	42	103	45	112	40	21	84	50	40	20	7	15	208	44
⑥許されるなら、家族の支援があればあるほどいいに決まっている!	その通り	185	36	75	32	110	39	18	65	56	31	15	10	22	175	37
	いや違う	329	64	156	68	173	61	38	115	72	75	29	36	78	293	63
⑦結婚して家庭を持って初めて、1人前になったと言える	その通り	105	20	51	22	54	19	11	38	19	28	9	14	30	91	19
	いや違う	409	80	180	78	229	81	45	142	109	78	35	32	70	377	81
⑧本当は、フリーターみたいな生活が理想なんやけどなぁ	その通り	62	12	32	14	30	11	10	23	14	12	3	4	9	58	12
	いや違う	452	88	199	86	253	89	46	157	114	94	41	42	91	410	88
⑨18歳になると絶対に家を出ていかないといけない国があるって聞くけど、日本もそれぐらいの方がいい	その通り	138	27	63	27	75	27	22	42	37	26	11	21	46	117	25
	いや違う	376	73	168	73	208	73	34	138	91	80	33	25	54	351	75
⑩できればずっと家族と暮らしたい	その通り	162	32	51	22	111	39	23	60	34	32	13	13	28	149	32
	いや違う	352	68	180	78	172	61	33	120	94	74	31	33	72	319	68
住居	実家	395	77	172	74	223	79	48	145	101	74	27	17	37	378	81
	下宿	119	23	59	26	60	21	8	35	27	32	17	29	63	90	19
出身地	大都市	133	26	49	21	84	30	15	46	36	24	12	13	28	120	26
	中都市	228	44	105	45	123	43	21	82	51	50	24	16	35	212	45
	その他	153	30	77	33	76	27	20	52	41	32	8	17	37	136	29
アルバイト収入	1万円未満	167	32	91	39	76	27	36	49	31	33	18	9	20	158	34
	1~3万円	143	28	61	26	82	29	14	51	33	31	14	12	26	131	28
	4~6万円	149	29	54	23	95	34	5	63	43	30	8	16	35	133	28
	7~9万円	44	9	15	6	29	10	1	15	19	8	1	9	20	35	7
	10万円以上	11	2	10	4	1	0	0	2	2	4	3	0	0	11	2
奨学金	もらっている	249	48	126	55	123	43	23	78	56	59	33	26	57	223	48
	もらっていない	265	52	105	45	160	57	33	102	72	47	11	20	43	245	52

※年次の取り扱いについては、4月時点での学年として、集計を行っています。なお、アンケート実施期間が年度をまたいでいたため、一部、3月時点でのデータも含まれています。

次号のテーマは…「関大生が思う理想のリーダーとは？」

2012年はさまざまな国でリーダーが変わる年です。6月号では、理想のリーダーとはどういう人物か、リーダーに必要な要素とは何かを皆さんと考えます。

医療機器・医薬品業界 / 営業



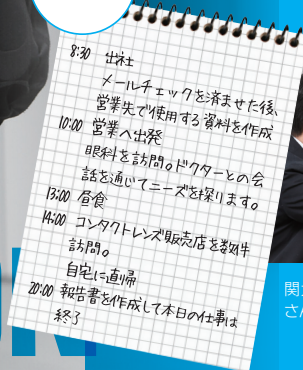
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 下城晴名さん

大阪府立千里高等学校 国際教養科出身
2011年文学部総合人文学科卒業

よりクリアで健康なビジョン(視覚)を
たくさんのお客様に提供したい。

製薬や医療機器、ヘルスケア関連製品など、健康・医療に関わるさまざまな製品を取り扱うジョンソン・エンド・ジョンソングループ。下城晴名さんは使い捨てコンタクトレンズ製品の輸入・販売を行うビジョンケアカンパニーで勤務しています。現在は名古屋営業所で眼科やコンタクトレンズ販売店への営業を担当。同社が販売する使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー」製品をより多くの方に正しく使っていただけるよう、取引先のニーズに応える提案や販売戦略の立案など、入社2年目ながらもすでに自分の裁量で仕事を進めています。「即戦力として仕事を任せてもらえて、着実に成長を実感できるので、とてもやりがいを感じています」と語る下城さん。同社を志望したのは、広く社会に役立つ仕事がしたかったから。会社が掲げる「我が信条 (Our Credo)」でうたわれている顧客や社員、そして地域社会を大切に作る姿勢に共感したことでも大きな理由でした。また、同社は世界60カ国に250以上のグループ企業を有する国際企業。グローバルな環境で働きたいと考えていた下城さんは、学生時代にアメリカ・アリゾナ州へ1年間留学。そのとき培われた自主性やチャレンジ精神は、社会に出ても役立っていると言います。「大学の4年間は、何事にも一生懸命打ち込めるとても貴重な時間です。留学はもちろん、自身で何か目標を立てて取り組んだ経験は将来必ず生かされる時が来ると思います」と笑顔で語ってくれました。

ある1日の
スケジュール



開大出身の先輩・久原一真さんと打ち合わせ

モバイルツールは外回りに欠かせないアイテムです。

SALESPERSON

VIVA!!

学び易



商学部 ビジネスリーダー特別プログラム (BLSP)

「プロジェクト研究1」

西岡健一 准教授

情報家電ネットワークを使ったビジネスの研究。

新しいビジネスの研究・発表を通じて視野を広げ発想を豊かにし、英語でのプレゼンテーションで実践的な英語力を育てていきます。

「品格のある柔軟なビジネスリーダーの育成」を教育目標とする商学部の特徴的なプログラム「ビジネスリーダー特別プログラム (BLSP)」。

英語でのワークショップや外国企業への英語でのプレゼンテーションなど、さまざまなプロセスを通じてTOEIC800点以上の英語力とプロジェクト実践力を培い、国際社会で活躍できる「英語に強いプロアクティブリーダーの育成」を目指しています。

この4月からBLSPに所属する西岡健一准教授のゼミ。授業では新しいビジネスの仕組みについて研究しており、今年度は、通信機能を備えた家電製品、いわゆる「情報家電」に関するビジネスの研究に取り組んでいます。

「これまでは独立していた家電機器がネットワークでつながることで、人間の行動がどのように変わり、さらにはビジネスがどう発展していくかを学んでいます」と語る西岡先生。これらの研究成果を基に新しいビジネスの可能性について、企業に向けたプレゼンテーションを実施。9月には米国シアトルでの発表も予定されています。他にもさまざまな場でのプレゼンテーションの機会を設け、そこで得られた意見や反応を参考に、研究内容をブラッシュアップしていきます。

「自分の考えを発表する場を数多く経験することで自らの考えが深まり、発想や視野が広がります。また、英語でのプレゼンテーションによって実践的な英語力の修得も期待できます」と西岡先生。発表に至るまでには地道な努力が必要ですが、その分、得られる成果は大きいようです。



大橋孝信さん(4年次生)

複数のプロジェクトが同時進行しているので、タイムマネジメントや先のことを考える習慣など、社会で役立つスキルが身に付きました。西岡ゼミは頑張るほど面白さを実感できるので、やる気のある人にはお勧めです。



前田莉果さん(3年次生)

実践的な英語力を身に付けたくてBLSPを受講しました。西岡ゼミでの研究・発表を通じて、日々さまざまな面で成長を実感できているので、1年後にどんな世界が見えるのか今からとても楽しみです。



商学部
西岡健一 准教授

経営学は実践的な学問です。「調査して、考えて、行動する」ことを繰り返すことが大事で、その結果、自分の考えをすぐに行動に移すという実行力も身に付きます。また、さまざまな機会と日本語・英語の発表を通じていろいろな意見や考え方に合うことで、発信力だけでなく視野も大きく広がると考えています。



外国人留学生と関西大学の歴史を知ろう。

さらなるグローバル化を目指して!

現在、関西大学には日本人だけでなくさまざまな国の学生が在籍しており、2012年4月1日現在、大学・大学院で学ぶ外国人留学生は25カ国・地域719人に上ります。そんなグローバルな学び場である関西大学に初めて留学生がやって来たのは、今から100年以上も前のこと。記録によると、1908年(明治41年)に卒業した張徳憲さん、張徳滋さん、張徳馨さんら、5人の清国人留学生でした。5人は専門部法律学科で学び、上記の3人については清朝政府の官吏となっており、関西大学で学んだ法律の知識を生かしていたと考えられます。1911年(明治44年)には、同じく清国人の楊彦潔さんと周進さんが卒業。楊彦潔さんは関西大学卒業後、神戸の清国領事館や東京の中華民国公使館で通訳として働きました。以来、現在に至るまで数多くの留学生を受け入れてきた関西大学。今年は南千里国際プラザを開設し、留学生別科を設置するなど、さらなる国際化に向けて新たな一歩を踏み出しています。



楊彦潔さん

周進さん

1911年(明治44年)に関西大学を卒業した2人の清国人留学生

◆ 関西大学で学んだ留学生にインタビュー



グエンティ・ハーティンさん(ベトナム出身) 在学期間:2008年~2011年

Q1. 関西大学に留学したきっかけは?

以前、文学部の野間晴雄教授と高橋誠一教授がベトナムについて研究されており、私が通っていたベトナム国家大学ハノイ理科大学地理学部の科学研究と深いつながりがありました。私は、野間教授と高橋教授の共同研究者と働いていたことがあったので、お2人と面識があり、関西大学への留学を決めました。

Q2. 在学中はどんな活動をしていましたか?

G-COE文化交渉学教育研究拠点でリサーチアシスタントとして働いていました。文学研究科では文化交渉学を専攻。博士号を取得しました。

Q3. 現在はどのような活動をしていますか?

ベトナム国家大学ハノイ理科大学の地理学部で講師をしています。

NEW TOPICS 南千里国際プラザを開設、留学生別科を設置。

関西大学は新たな国際化構想の一環として、この4月に南千里国際プラザを開設しました。プラザ内には日本の大学・大学院への進学を目指す留学生が日本語や日本文化などを学ぶ留学生別科の教育施設と留学生寮が設けられています。

◆ 留学生別科生インタビュー 許派綸さん(台湾出身)

Q. 留学生別科に入学した理由は?

A. 父が昔、関西大学に留学しており、その影響で関西大学留学生別科を選びました。日本にも小さいころから何度か来たことがあり、日本語の勉強は私自身の趣味でもあります。

Q. 留学生別科ではどんな授業を行っていますか?

A. 毎日日本語の授業があります。1限から3限は日本語の授業。4限から6限は大学への進学のために数学や英語の授業があり、総合科目といった日本の歴史や地理などの授業も受けます。

Q. 授業以外でどんな活動をしてみたいですか?

A. 剣道や柔道など日本の文化に関わるクラブやサークルに参加してみたいです。

Q. 将来はどんなことをしてみたいですか?

A. 私は高校を卒業して留学に来ているので、日本の大学に進学したいです。現在、将来のことについて、あまり深く考えていませんが、記者になって日本全国いろいろな所に行ってみたいです。



南千里国際プラザトリビア

① 留学生別科は今、話題の秋入学も行っている!?

留学生別科の定員は100人。しかし、現在留学生別科で学んでいるのは33人。残りの約70人の留学生は9月に入学する予定です。

② 授業はノートパソコン持参が条件!?

留学生別科では授業を受講するにあたり、自分のノートパソコンを持参することが条件になっています。各教室や共同ラウンジなど、ほぼ全館に無線LANが設置されており、ICT(情報通信技術)やe-learningを積極的に活用した授業が行われています。

③ 南千里国際プラザの寮には日本人学生も入寮できる!?

南千里国際プラザの留学生寮には、現在、「レジデント・アシスタント」として23人の一般学生が入寮しています。留学生の生活をサポートしながら、互いに国際感覚を磨いています。

④ ウェルカムパティオから上を見上げるとハトがいる!?

教室棟と寮棟の間の中庭(ウェルカムパティオ)から空を見上げると、白いハトがどこかから顔をのぞかせています。皆さんも探してみましょう!





総合情報学部4年次生

井口拓斗さん

被災地のためにできることを続けたい。

東日本大震災の復興支援活動を行う学生団体「Youth for 3.11」。井口拓斗さんは関西支部の運営メンバーとして、学生たちが安心して参加できて、効果的なボランティアができるプログラムを提供する活動や、復興支援のチャリティーイベントを主催するなど、学生だからこそできる継続的な被災地支援活動を行っています。

「ボランティアに参加したいけどなかなか行動に移せない」という学生はたくさんいると思います。そんな人たちをさまざまな形でサポートすることで、一人でも多くの学生に東北に足を運んでもらい、被災地の現状を知ってもらいたいです」と語る井口さん。ボランティア活動を始めたきっかけは、仲の良い友人の「俺、ボランティアに行ってくるわ」という一言でした。その言葉を聞いて「自分にも何かできることがあるのでは」という気持ちが芽生え、ボランティアへの参加を決意。そうして出会ったのが「Youth for 3.11」でした。彼らのサポートを受けた井口さんは、6月下旬から7月上旬にかけて陸前高田や気仙沼、大島を訪問。がれき撤去や炊き出しなどの活動に参加します。そうしてボランティアを通じて被災した人たちと出会い、たくさんの悲しみや復興に向けた思いを聞くことで、「関西に戻っても被災地のためにできることをしよう」と心に決め、今も「Youth for 3.11」の運営メンバーとして、関西から支援活動を行っています。

「発生から1年以上が経過した今、大切なのは震災を風化させないことだと思います。現地ではまだまだボランティアが必要とされていますから、被災地のために何かをしたいという人はぜひ「Youth for 3.11」を利用して現地に足を運んでください。そして現地で見聞きしたこと、感じたことを周りの人たちに広く伝えてほしいですね」。



Youth for 3.11



「学生のチカラ」を最大限に発揮し効果的な復興支援活動を実現するため、ボランティアに参加したい学生に「事前研修・交通手段・宿泊施設・飲食物・事後リフレクション」が全て揃ったパッケージプログラムを低料金で提供。学生が参加しやすいボランティアの機会を設け、1日も早い復興と、学生が社会問題の解決に参画できる社会の実現を目指しています。

<http://www.youthfor311.com/>

次号では、井口さんからのご紹介でベンチャー企業「Ring Empowerment」の起業に携わった吉村太貴さん(法3)が登場。お楽しみに!

Takuto Iguchi

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

法学部の多様な演習科目について

法学部の現行カリキュラムは、少人数教育を重視する立場から、全ての年次にわたって演習科目を配置しています。1年次には、春学期に「導入演習」、秋学期に「基礎演習」が配当されています。2年次の春学期と秋学期には、「トピック演習」と「発展演習」を履修できます。3年次および4年次では、「専門演習」を通じて各専門分野の知識を深めることになります。「導入演習」以外は、全て選択科目です。教員と学生、学生相互間の対話により成り立つ演習科目の積極的な履修を期待しています。

(副学部長 藤原稔弘教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

初年次科目「知のナビゲーター」

文学部の初年次教育科目「知のナビゲーター」は、文学部での学びのために身に付けなければならない基礎的なスタディ・スキルを習得するための専門科目で、定員25人のクラスを、28人の文学部専任教員が担当しています。読む・書く・調べる・発表する・議論する、といったスキルの中から、それぞれのクラスの担当教員が焦点化した項目を中心に、基本的な学習・研究能力を備えた学生を養成するため、学部全体で精力的に取り組んでいます。

(教学主任 大久保朝憲教授)

経済学部／経済学研究科

関西大学経済学会 学生懸賞論文

経済学会は、学生会員から経済学に関するテーマで論文を募集し、優秀作品を表彰しています。昨年度は29本の論文の応募があり、2等1本、3等7本、佳作9本に対して、表彰状と賞金が授与されました。2等の論文は、本年発行の「経済学会報」に掲載されます。

(入試主任 中川竜一教授)



政策創造学部／ガバナンス研究科

東日本大震災に関する合同講義を開催

4月23日、千里山キャンパスで東日本大震災関連の合同講義が行われました。橋口勝利准教授らの講義で、昨年被災地を訪問するなどさまざまな活動を行っている学生たち約10人が登壇し、被災地の現状などを報告しました。その中で、ある3年次生は、福島大学のホットスポット直近で学ばなければならない学生の心理を紹介し、別の3年次生は、大阪府池田市と被災地の2小学校を結んだ活動をレポートしました。学生たちは、今後もさまざまな視点からの活動を続けるといいます。

(深井麗雄教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

先輩から後輩へ～引き継がれる知

4月上旬、外国語学部祭典実行委員会の学生が中心となり、新入生歓迎行事が開催されました。先輩による大学生活の紹介やStudy Abroadに関するアドバイスがあり、新入生にとっては学部に対して親しみを抱く第一歩となりました。学生から学生へと「知」を引き継ぐ場となることを期待しています。

(奥村佳代子教授)



人間健康学部

専門演習がスタート

人間健康学部は2010年4月に設置され、今春で1期生が3年次生になります。それに伴って、専門演習が始まりました。これは各教員のゼミに全ての3年次生が所属し、4年次生まで継続して、卒業論文や卒業研究を作成していく演習です。本学部には、スポーツと健康、福祉と健康という2つのコースがありますが、コースを横断して、複数のゼミが合同でディベートやディスカッションなどを行う企画も考えられています。異なる専門分野間の合同ゼミから新しい学びの創造が期待されます。

(学部長 狭間香代子教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

会計連携特別プログラム(ALSP)

商学部の教育課程の狙いの一つは、ビジネスの世界における言語として会計の知識を実践的に使えるようにすることです。商学部では、少人数型教育クラスのプログラムであるALSPを2011年度より新設しました。会計に関する専門的な知識を体系的に習得することによって、公認会計士試験への合格と会計専門職大学院への(早期)進学を目指すことができます。また、在学中に日商簿記1級などの資格試験に合格した者について表彰状を授与しています。

(乙政正太教授)

社会学部／社会学研究科

遅れてくるたのしみ

キャンパスが新鮮な風で満たされる春。満開の桜の下をスーツ姿の4年次生が行き交いました。「先生、来年の今ごろはどうなってるんでしょうね?」「そやなあ、どっかの公園で花見の場所とりかなあ」。新入社員に任される仕事には限りがあります。でも数年後には、「新人研修の担当になりました」「企画の仕事を任せてもらいました」との便りが。年々歳々花あい似たり、年々歳々人同じからず。今年も、若者たちが悩み抜いて成長する季節です。

(キャリアセンター主事 永井良和教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

大学での学びに適応しようー導入教育ー

入学初学期、総合情報学部では2つの導入科目を用意しています。演習型の「導入ゼミ」は専任教員が担当し、大学での学びに必要なスタディスキルを身に付け、受動型から発信型へと意識を切り替え、実習型の「Enjoy Computing」では、プログラミングやデジタル画像の編集などを楽しみながら学ぶことで、情報学への興味を自然に高めていきます。



社会安全学部／社会安全研究科

高槻ミュージズキャンパス西門オープン

隣接する弁天公園が完成したことに伴い、4月2日から高槻ミュージズキャンパスの西門がオープンしました。また、JR高槻駅からキャンパスまでの歩行者デッキが完成したことでアクセス時間が約7分へと短縮され、高槻ミュージズキャンパスを取り巻く施設環境は、一部を残しほぼ整備されることとなりました。



専門職大学院トピックス

法科大学院

公開講義

「法と社会(法実務と社会)」を開講～法曹として第一線で活躍されてきた先生方から法曹の役割を学ぶ～

法科大学院では、元札幌高等裁判所長官、元日弁連会長および元最高裁判所判事等、法曹として輝かしい経歴をお持ちの法科大学院特別顧問教授の先生方に加え、関大法曹会所属の現在も法曹として第一線で活躍中の先生方に、自らの担当した事件、関心をお持ちの問題を取り上げて、それらの法的争点、法実務上の問題点とともに、法実務と社会の関わりについて論じていただく公開講義「法と社会(法実務と社会)」を現在開講しています。法や裁判が実社会とどのように関わり、法曹がどのような役割を果たしてきたかに興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。学年・学部を問わずご参加いただけます。詳細は法科大学院ウェブサイト <http://www.kansai-u.ac.jp/lis/index.html> にてご確認ください。

開講曜日・時間:春学期 木曜日 6時限(18:00~19:30)
場所:千里山キャンパス 以文館 B1講義室 申し込み:不要

併設校トピックス

関西大学第一中学校・第一高等学校

創立100周年シンボルマークとマスコットキャラクターが決定

2013年、創立100周年を迎える関西大学第一中学校・第一高等学校は、記念事業の推進を目指し、シンボルマークとマスコットキャラクターを決定しました。どちらもスクールカラーの紫紺を基調としたもので、本校生徒の考案によるものです。本校では、ブルー建て替えなどの教育環境整備を図り、新たな第2世紀に向けて、さらに発展、躍進を続けていきます。



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

新年度を迎えた理工系3学部

システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部は、それぞれ570人、376人、386人の新入生を迎えました。4月1日に入学式が滞りなく挙行され、新入生の皆さんへ、各学部の学部長よりエールが送られました。新入生の皆さんが、知識を吸収して物事をじっくりと考えることのできる学生の特権を十二分に生かし、実りある学生生活を送られることを期待します。

また、システム理工学部、化学生命工学部は、それぞれ4人、2人の新任の先生方をお迎えして新年度のスタートを切りました。新入生の皆さんと同じく、新任の先生方も新しい気持ちで関大での教育・研究活動を開始されたことと思います。2月9日に始まった第4学舎2号館教室棟の耐震改修工事の春学期分が無事終了しました。地震に対してより安全な環境のもとでの授業

が4月4日に始まったこととなります。なお、8月から9月にかけても同教室棟の耐震改修工事が予定されています。5月20日(日)には教育後援会総会・学部別懇談会が予定されています。多くのご父母が参加され、学生の皆さんの生活の様子を知ってもらい、就職や進学についての情報に耳を傾けていただけることを期待します。

Attention 大学からの重要なお知らせ

2012年度 春季人権啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。詳細については案内パンフレット「人権を考える」を参照してください。多くの学生・教職員の来場を期待します。

5月11日(金) 2時限	講演テーマ: 性の多様性を知ろう 講師: 西千鶴氏(QWRC(Queer & Women's Resource Center)共同代表)	5月15日(火) 4時限	講演テーマ: 企業と人権 講師: 大西英雄氏(大阪同和・人権問題企業連絡会 理事長/富士火災)	5月29日(火) 5時限	講演テーマ: 民主主義の質を「人権」概念から考えるー中部ヨーロッパ小国研究から 講師: 田口晃氏(北海道大学 教授)
5月14日(月) 4時限	講演テーマ: ICT時代のプライバシーと個人情報保護 講師: 川添圭氏(川添法律事務所 弁護士)	5月17日(木) 5時限	講演テーマ: 異文化コミュニケーションにおける人権問題 講師: 平野アンナ氏(名城大学非常勤講師/造形作家)	5月30日(水) 3時限	講演テーマ: 御巣鷹と生きるー一日航機事故遺族の27年ー 講師: 美谷島邦子氏(8.12連絡会 事務局長)
	5月29日(火) 3時限				講演テーマ: 貧困問題とホームレスの自立支援の実態を知ろう 講師: 佐野章二氏(有限会社ソグビイシュー日本 代表)
					講師: 堀野 章二氏(有限会社ソグビイシュー日本 代表) 時間: 13:00~14:30 場所: 堺キャンパス A棟 SA202教室
					講師: 田口晃氏(北海道大学 教授) 時間: 16:20~17:50 場所: 千里山キャンパス 第1学舎 B102教室
					講師: 美谷島邦子氏(8.12連絡会 事務局長) 時間: 13:00~14:30 場所: 高槻ミュージズキャンパス 西館 ミュースホール

関大トピックス

石川正司教授と冬木正彦教授が 文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞

化学生命工学部の石川正司教授が平成24年度文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を受賞し、環境都市工学部の冬木正彦教授が同賞(理解増進部門)を受賞しました。文部科学省では、わが国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めており、科学技術賞は、文部科学大臣が顕著な功績をあげた者に対し表彰をするものです。今般の科学技術賞受賞者119人のうち、私立大学関係者は11人でした。

評価された業績(研究成果)

石川正司教授

「材料界面の積極的制御による蓄電池デバイス高性能化の研究」

世界で初めて、純粋なイオン液体を用いたリチウムイオン電池を完全動作させることに成功。今後、電気エネルギーを高効率に利用する理想的な社会の実現に寄与することが期待されています。

冬木正彦教授

「国際競争力に資する専門英語教育システムの開発及び普及啓発」(福井第一大阪大学大学院工学研究科教授と共同)

国際競争力が求められる英語教育と学習の有機的なサイクルを教育現場などで広く普及することが期待されています。

今回の受賞を記念して6月に記念講演会の開催を予定しています。詳細が決まり次第、ウェブサイトなどでお知らせします。

障がいのある学生に対する 修学支援窓口を全学体制で構築

関西大学では、4月から障がいのある学生に対する修学支援を全学的にスタートしました。これまでは、支援を希望する学生に対して、各学部・研究科の各窓口が個別に対応を行っていましたが、共に学べる環境を整備するため「障がいのある学生に対する修学支援チーム」を設置し、全学的な修学支援体制を整えました。同チームには、専属のコーディネーターと共に研修を積んだ60人を超える学生支援スタッフを配置し、学内の関連組織と支援に関する連絡・調整を十分に行いながら、障がいのある学生に対して組織的なサポートを進めていきます。

主な支援内容

- 視覚障がい…テキストのデータ化、教材の点訳、支援機器の利用等
- 聴覚障がい…ノートイク、ビデオ教材の文字起こし、手話通訳者の派遣等
- 肢体不自由…休憩室の利用、授業教室の調整、ノート作成補助等
- 内部障がい…車両の入構および駐車許可、受講時の配慮(着席位置、途中退席許可)等
- 発達障がい…障がいの状況に応じて、心理相談室と連携を取りながら個別に対応
- ◇共通の支援…個別相談、学内設備の改善、定期試験等の配慮の調整、授業担任者への配慮事項の伝達

漆喰シーサーワークショップを開催

4月14日と15日、先端科学技術推進機構研究グループ「伝統建築の知恵に学ぶ次世代建築技術研究開発」の研究チームが、琉球赤瓦の瓦師・芸術家の奥原崇典先生に学ぶ「シーサーづくり」を開催しました。シーサーは瓦職人が瓦を置き、余った瓦を漆喰で繋ぎ止めながら造形する沖縄の芸術品。首里城の瓦を手がけた奥原先生の指導のもと、約30人の参加者はシーサーの製作実習を通して、瓦と漆喰の材料特性や、完成した十人十色のシーサーからデザイン奥深さについて学びました。



アレキサンダー・ベネット准教授が 剣道のニュージージーランド 代表チーム監督としてイタリアへ

国際部のアレキサンダー・ベネット准教授が、5月25日(金)から27日(日)にイタリアで開催される第15回世界剣道選手権大会に、ニュージージーランド代表チームの監督として出場します。ベネット准教授は、剣道錬士7段(ニュージージーランド人初)、なぞなだ5段(昨年の世界大会で準優勝)、居合道5段の腕前の持ち主です。2011年2月にニュージージーランドで発生した大震災では、



ベネット准教授がフリストチャーチに設立した剣道部「青稲剣友会」も甚大な被害を受けました。ベネット准教授は特別な想いを胸に、今回の大会に挑みます。

システム理工学部の西岡隼基さんが ニッポン放送オールナイトニッポン 0(ZERO)のパersonナリティーに

4月からスタートしたニッポン放送のラジオ番組「オールナイトニッポン0(ZERO)」のパersonナリティーにシステム理工学部機械工学科4年次生の西岡隼基さん(写真右)が選ばれました。1,600組以上が参加したオーディションを見事勝ち抜いた西岡さんと中学校の同級生で友人の本村康祐さん(同左)。オーディションに合格したパersonナリティー5組の中で唯一の一般人として毎週金曜深夜3:00~5:00の生放送を担当しています。残念ながら大阪では放送されていませんが、リスナーから1,000通以上のはがきが届くなど、2人の個性的なキャラクターと軽妙なやり取りが好評を得ているそうです。



5月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「あなたは、いま、「自立」していますか?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。プレゼントの発表は、当選者(50人)にのみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(5月11日に通知予定)。

「関西大学通信」ニックネーム決定

たくさんの方のステキなニックネームのご応募ありがとうございました。83点のニックネームの中から選考の結果、真鍋ともこさん(商4)考案の「KANDAI STYLE」に決定しました。「KANDAI STYLE」には、学生一人ひとり違うものがあり、その自分らしさを失ってほしくないという思いが込められています。これから「KANDAI STYLE」をよろしく願います。

関大人

よもやまばなし

四方山話 ◆あと10cmの思いやり 法人本部 本部長 五藤 勝三



生徒・学生など若い人(だけではないが)の電車内でのマナーが気になる。大声でのお喋り、ヘッドホンからの音漏れ、飲食、化粧直し、座席シートへの荷物置きなど数え上げたらきりが無い。とりわけ、「座席の座り方」が気になる。混雑した車内で座席に手荷物を置いたり、隣の人の間隔を詰めずに座っていたり、足組み、大股開きのだらしない座り方のため7~8人くらいが座れそうなロングシートにも、5~6人ほどしか座れないなど。

(社)日本民営鉄道協会が1999年以来実施している「駅と電車内の迷惑行為ランキング」というアンケートでも、年により若干順位の変動はあるにしても、「携帯電話の使い方」、「騒々しい会話」などと共に、「座席の座り方」が常に上位にランキングされている。座席シートに座る乗客の一人ひとりが隣の人の間隔を「あと10cm」詰める思いやりがあれば、一人でも多くの人が座席に座れるのだが。関大生には、人への思いやり、周囲に配慮のできる学生であってほしい。

編集後記

毎号いろんな学生が、いろんなポーズで登場する『関西大学通信』の表紙。実はこの学生たちの写真…結構「ガチ」な撮影をしているんです。フォトスタジオのようなカメラ機材を前に、学生たちも最初はかなり緊張気味…。でもプロカメラマンによる優しい手ほどきもあり、しだいに表情もポーズも柔らかかに。毎号ここからたくさんの学生たちが「関西大学通信デビュー」しています。(広報課 保呂篤志)



今月の表紙: 石川友佳子さん(化生1)、磯島広海さん(経3)、大西佑梨さん(社2)、岡藤裕太さん(政策1)、北野彩菜さん(文2)、近藤湧太さん(化生1)、櫻井謙伍さん(化生1)、樽本文輝さん(経1)、寺原聖二さん(商1)、中沼詩織さん(法3)、中原鈴代さん(文2)、西土井靖さん(社1)、野村隼人さん(商1)、平川達也さん(安全1)、松村尚澄さん(政策2)、森山ナティーさん(法3)、山下公平さん(経1)